

第2期  
伊那地域定住自立圏  
共生ビジョン

2021(令和3)年3月●日  
伊那市

## 伊那地域定住自立圏 目次

1	定住自立圏及び市町村の名称.....	1
	(1) 定住自立圏の名称.....	1
	(2) 圏域を形成する市町村の名称.....	1
2	定住自立圏の将来像.....	1
	(1) 圏域の概況.....	1
	ア 人口と将来推計.....	1
	イ 年齢3区分人口割合の推移と将来推計.....	2
	ウ 伊那市への通勤通学割合.....	2
	エ 医療.....	2
	オ 産業.....	3
	カ 子育て.....	5
	キ 地域公共交通.....	6
	(2) 圏域の課題.....	6
	(3) 圏域の将来像.....	7
3	共生ビジョンの期間.....	7
4	協定等に基づき推進する具体的取組.....	8
	(1) 生活機能の強化に係る政策分野.....	8
	ア 産業振興.....	8
	イ 福祉.....	8
	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野.....	11
	ア 地域公共交通.....	11
	(3) 圏域のマネジメント強化に係る政策分野.....	13
	ア 人材育成.....	15

## 1 定住自立圏及び市町村の名称

### (1) 定住自立圏の名称

伊那地域定住自立圏

### (2) 圏域を形成する市町村の名称

伊那市、箕輪町、南箕輪村

## 2 定住自立圏の将来像

### (1) 圏域の概況

当圏域は、長野県の南東部に位置し、東は南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、西は中央アルプスを境に木曾地域に接しています。南北に伊那盆地が開け、圏域の中央を南下する天竜川により、河岸段丘と扇状地が形成され、田園と畑作地帯が開けた美しい景観をつくり出しています。

道路は、中央自動車道と国道 153 号が圏域内を南北に縦断し、また、国道 152 号や権兵衛トンネルを有する国道 361 号などの主要幹線道路により、周辺地域との結びつきを深め、鉄道は、圏域の中央を飯田線が走り、中央本線、東海道本線に連絡し、2027 年（令和 7 年）に開業が予定されているリニア中央新幹線によって、東京圏、中京圏との結びつきが更に強まることが期待されています。

通勤・通学、買い物、通院などの日常生活行動圏は、行政区域を越えた圏域が形成されており、病院運営やごみ処理、救急・消防業務などの住民生活に係わる行政サービスは、広域連合や一部事務組合により行われています。

### ア 人口と将来推計

単位：人

市町村名	2010 年 (平成 22 年)	2015 年 (平成 27 年)	2020 年 (令和 2 年)	2025 年 (令和 7 年)	2030 年 (令和 12 年)	2035 年 (令和 17 年)
伊那市	71,083	68,271	65,269	61,976	58,622	55,141
箕輪町	26,214	25,241	24,216	23,008	21,694	20,308
南箕輪村	14,498	15,063	15,401	15,567	15,577	15,428
合計	111,795	108,575	104,886	100,551	95,893	90,877

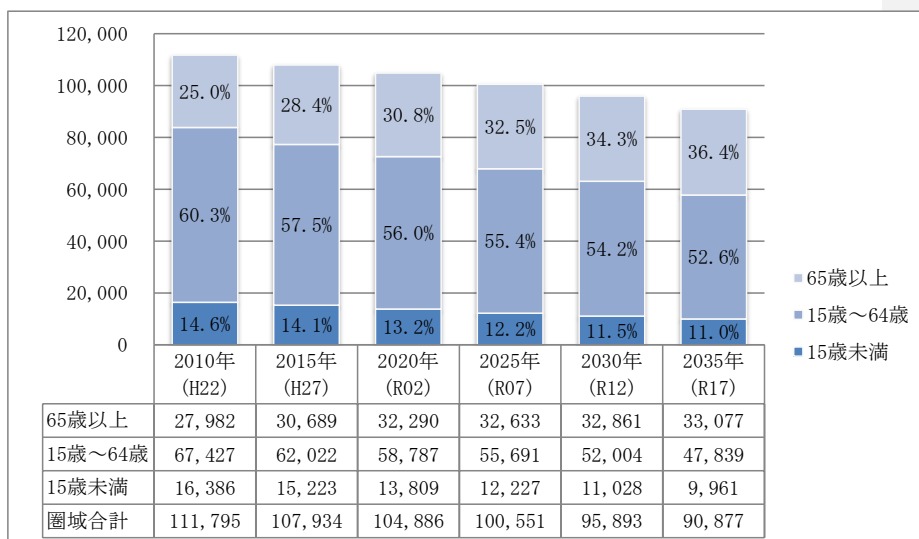
実績値

推計値

出典：2010(平成 22)～2015(平成 27)年度…国勢調査  
2020(令和 2)～2035(令和 17)年度…国立社会保障・人口問題研究所

イ 年齢3区分人口割合\*の推移と将来推計

単位：人



※年齢不詳は除く

出典：2010(平成22)～2015(平成27)年度…国勢調査

2020(令和2)～2035(令和17)年度…国立社会保障・人口問題研究所

ウ 伊那市への通勤通学割合

町村名	人口	各町村に常住する就業者・通学者数	伊那市へ通勤・通学する従業者・通学者数	通勤通学割合
箕輪町	26,214人	13,981人	2,341人	0.167
南箕輪村	14,543人	8,513人	2,446人	0.287

参考：2015(平成27)年国勢調査

エ 医療

伊那中央病院患者数 (2019(令和元)年度)

単位：人

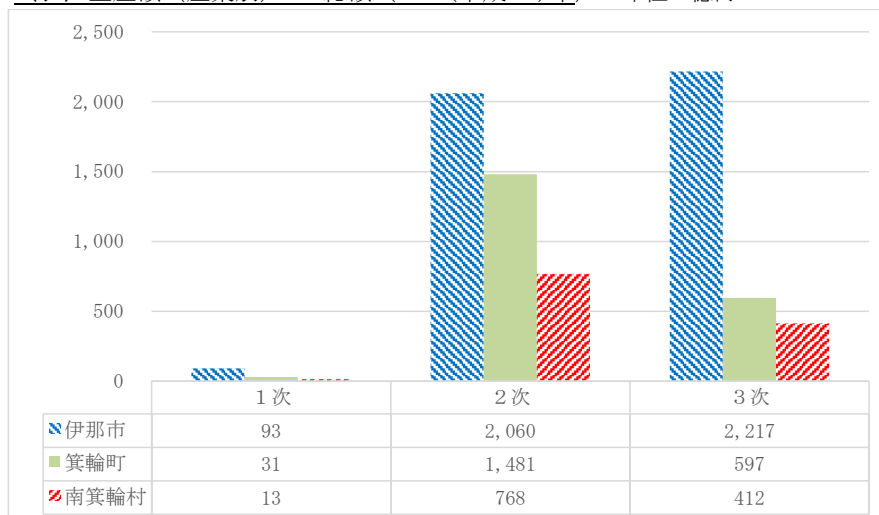
区分	伊那市	箕輪町	南箕輪村	圏域合計
外来延べ患者数*	112,166	33,571	24,111	169,848
入院延べ患者数	60,066	17,634	10,832	88,532
合計	172,232	51,205	34,943	258,380

※外来延べ患者数は、他科受診を含む。

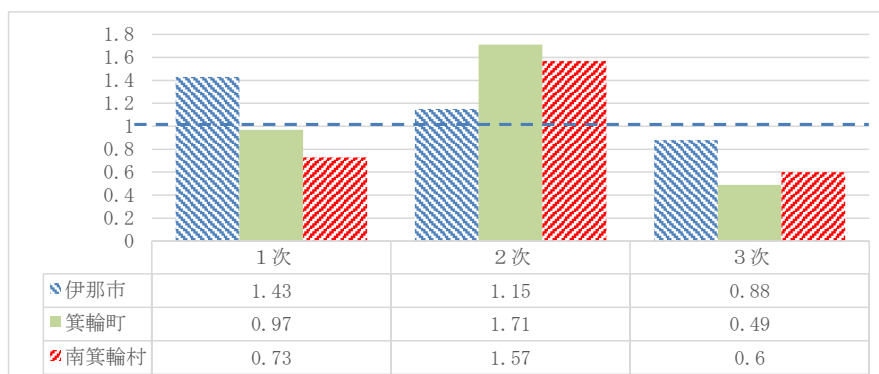
資料提供：伊那中央行政組合

## オ 産業

(ア) 生産額（産業別）\*の総額（2015(平成27)年） 単位：億円



(イ) 修正特化係数\*（付加価値額）（2015(平成27)年）



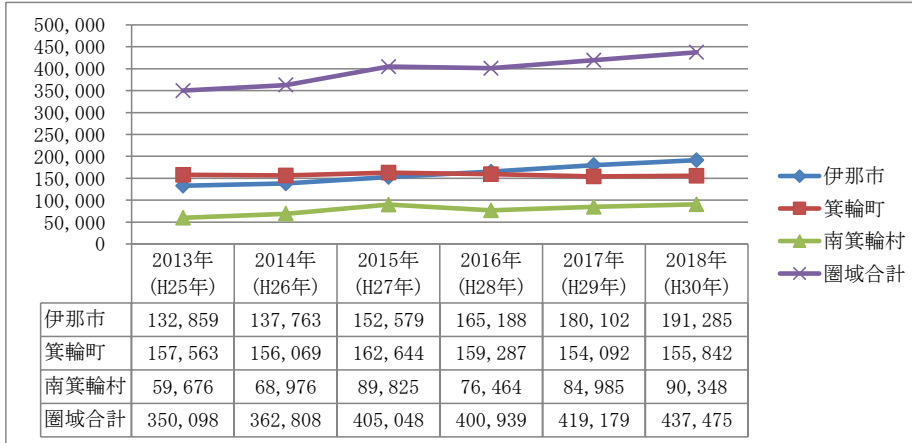
出典：経済産業省「地域経済分析システム（RESAS）」

※修正特化係数…

特化係数とは全国平均を1とし、地域の生産額に占めるその産業の生産額の割合で、値が「1」より大きいときには、全国と比較してその産業が地域経済に占める割合が相対的に高いことを示し、地域において「強み」のある産業であると考えられる。修正特化係数とは、この特化係数に輸出入分を調整したもので、世界における産業の強みを表す指標。

(ウ) 製造品出荷額等

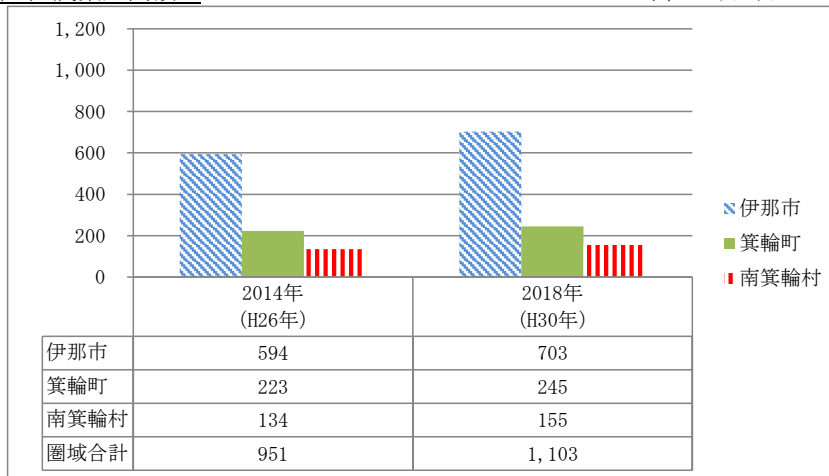
単位：百万円



出典：経済産業省「地域経済分析システム (RESAS)」

(エ) 農業産出額

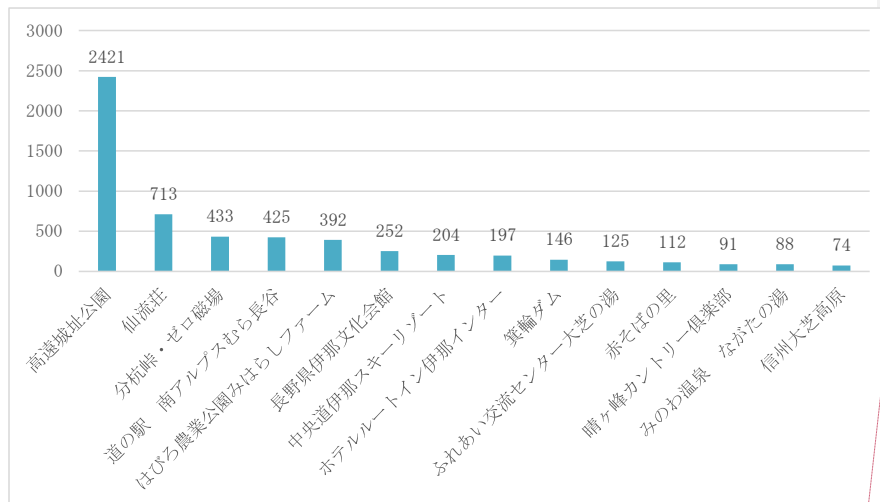
単位：千万円



出典：経済産業省「地域経済分析システム (RESAS)」

(カ) 目的地の検索回数 (2018(平成30)年)

圏域内の休日における自動車での目的地の検索回数



コメントの追加 [伊藤貴1]: 信州伊那国際ゴルフクラブ  
がほしい

出典：経済産業省「地域経済分析システム (RESAS)」

カ 子育て

(ア) 圏域内の保育園児数 (各年度4月1日現在)

単位：人

区分	伊那市	箕輪町	南箕輪村	圏域合計
2015年度 (平成27年度)	1,946	832	697	3,475
2019年度 (令和元年度)	<u>2,068</u>	<u>766</u>	<u>709</u>	<u>3,543</u>

資料提供：各市町村

(イ) 圏域内の子育て拠点施設の利用者数 (延べ人数) 単位：人 (親子計)

区分	伊那市	箕輪町	南箕輪村	圏域合計
2015年度 (平成27年度)	31,730	12,139	4,952	48,821
2019年度 (令和元年度)	<u>34,476</u>	<u>21,472</u>	<u>10,023</u>	<u>65,971</u>

資料提供：各市町村

## キ 地域公共交通

### 循環バスの乗車人員（2019(令和元)年度)

	路線名	乗車人員 (年間)	乗車人員 (1便当たり)
伊那市	イーナちゃんバス (内回り・外回り)	87,202人	4.98人
箕輪町	みのちゃんバス (南東、北西、市街地、東、西、南コース)	28,922人	6.04人
南箕輪村	まっくんバス (北、南、東、南原・沢尻コース)	13,220人	3.06人

資料提供：各市町村

## (2) 圏域の課題

市町村により差異はあるものの、地方圏における都市圏への人口流出や少子高齢化の急速な進行とともに、本格的な人口減少社会へ突入しています。

人口減少による地域経済の縮小や活力の減退を回避するためには、安定した雇用の創出や、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備が不可欠です。

そのためには、圏域内で増加傾向にある空き家を活用し、移住を促進することで、産業の担い手確保及び産業の活性化につなげる必要があります。

また、住まいの確保に加えて、子育て施策の充実を図ることで、次世代を担う若者の定住・定着につなげていく必要があります。

加えて、交通弱者の日常生活エリアの拡大や利便性の向上を図るため、地域公共交通の連携強化を図る必要があります。

こうした、課題への素早い対応と適切な政策展開を行うためには、圏域を構成する自治体職員の資質向上が欠かせません。

このような課題を解決し、安定した雇用の創出や、若い世代が安心して生活ができる環境をつくるためには、時代に合った地域社会の形成を進めていく必要があります。

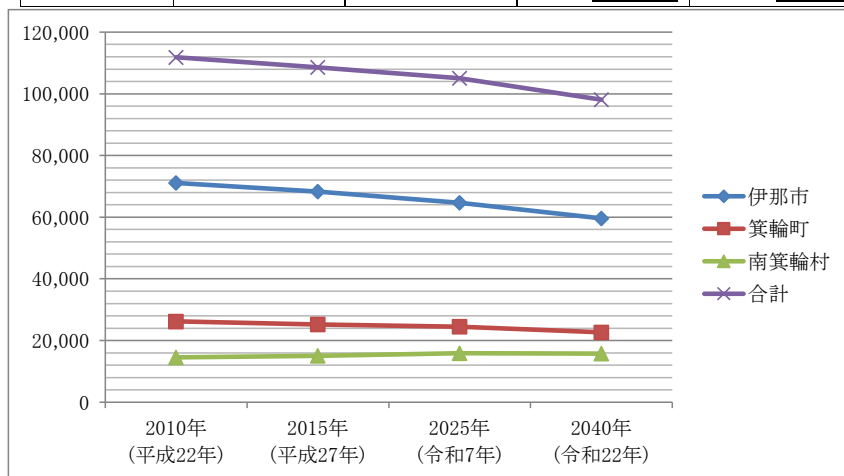


### (3) 圏域の将来像

当圏域では中心市及び連携町村がそれぞれ行政単位としての個性を發揮し、市町村内の課題を解決していくとともに、圏域では市町村での取り組み以上に、より効果的かつ効率的に産業振興、子育て、地域公共交通、人材育成の各分野での施策に取り組み、地域課題の解決を図っていきます。この伊那地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、圏域内での多様な都市機能の充実に努めるとともに、将来にわたり地域住民が安心して暮らせる魅力的な地域づくりに取り組んでいきます。

#### ア 圏域の人口目標

市町村名	実績値		目標値	
	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2025年 (令和7年)	2040年 (令和22年)
伊那市	71,093	68,271	64,665	59,616
箕輪町	26,214	25,241	24,509	22,672
南箕輪村	14,543	15,063	15,894	15,800
合計	111,850	108,575	105,068	98,088



### 3 共生ビジョンの期間

2021年(令和3)年度から2025(令和7)年度までの5年間とします。  
ただし、毎年、所要の見直しを行うものとします。

#### 4 協定等に基づき推進する具体的取組

##### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

ア 産業振興

基本目標

〇〇〇

産業振興 - ①

事業名	産業振興					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	圏域内の農林業、商工業、観光等産業全体における事業者の、設備投資や起業及び、立地や雇用を促すため、市町村相互に情報交換等連携し、ふるさと融資や助成制度の周知と利用促進及び必要な支援を行う。					
期待される効果	圏域内の経済活動の活性化に伴う、生産出荷額や雇用の増、観光コースや観光人口の増、消費額や税収の増が期待される。					
中心市の役割	①関係情報の収集と、情報交換や対応を協議する連携会議の開催 ②事業者に対し、ふるさと融資や助成制度等の周知 ③事業者に対し、設備投資や起業及び立地に要する物資等について、圏域内での調達や連携等地産地消の呼びかけ					
連携町村の役割	①関係情報の収集と、情報交換や対応を協議する連携会議の参加 ②事業者に対し、ふるさと融資や助成制度等の周知 ③事業者に対し、設備投資や起業及び立地に要する物資等について、圏域内での調達や連携等地産地消の呼びかけ					
費用の考え方	各市町村で実施する事業に必要な事業費は、それぞれの市町村が負担する。					
事業費（千円）	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		

イ 福祉

基本目標



福祉 - ①

事業名	子育て拠点施設の相互利用の充実					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	各市町村の子育て拠点施設を圏域の住民が相互に利用できる体制を充実させる。					
期待される効果	圏域の住民が様々なニーズに対応した支援サービスを受けることができる。					
中心市の役割	①子育て拠点施設での他町村住民の受け入れ、サービスの拡充 ②ホームページ等を活用した周知、広報					
連携町村の役割	② 子育て拠点施設での他市町村住民の受け入れ、サービスの拡充 ②ホームページ等を活用した周知、広報					
費用の考え方	必要経費について、中心市が連携町村から負担金を徴収し実施する。					
事業費（千円）	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	子ども・子育て支援交付金			補助率	2/3
相互利用を想定する子育て拠点施設	伊那市	子育て支援センター				
	箕輪町	子育て支援センター				
	南箕輪村	子育て支援施設 すくすくはうすこども館				
重要業績評価指標（KPI）	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	

福祉 - ②

事業名	子ども子育て関連事業間での協力体制の検討・構築
-----	-------------------------

連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	共同で実施することにより効果が見込まれる各市町村の子ども子育て関連事業間での協力体制の検討・構築を行う。					
期待される効果	圏域の住民の子ども子育て関連事業への理解・参加を促すことができる。地域人材の育成・掘り起し、職員・指導員の資質の向上を図ることにより、子ども子育て関連事業の充実が図られる。					
中心市の役割	①ファミリーサポート協力会員研修等の住民向け研修の共同実施 ②子育て関係職員・指導員等向け研修の共同実施 ③ホームページ等を活用した周知、広報 ④子ども子育て関連事業間での協力体制の検討、病児・病後児保育事業の検討					
連携町村の役割	①ファミリーサポート協力会員研修等の住民向け研修の共同実施 ②子育て関係職員・指導員等向け研修の共同実施 ③ホームページ等を活用した周知、広報 ④子ども子育て関連事業間での協力体制の検討					
費用の考え方	研修の共同実施は、中心市が連携町村から負担金を徴収し実施する。					
事業費（千円）	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	子ども・子育て支援交付金			補助率	2/3
重要業績評価指標 (KPI)	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野

ア 地域公共交通

基本目標

〇〇〇

地域公共交通 - ①

事業名	バスによる行政区域間縦断路線の運行					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	圏域内における住民の移動及び交流を促進するため、3市町村を結ぶバス路線を運行する。					
期待される効果	<p>連携町村から中心市内の総合病院、商業施設、高等学校等へのアクセスの利便性を高めることによって、圏域内の移動・交流が活性化し、人的交流の促進、受診機会の平準化、就学の選択肢の拡大、商業の活性化、一体感の醸成等が期待できる。</p> <p>また、各市町村が現在運行しているバス路線と接続することにより、相乗効果による相互の活性化が期待できる。</p>					
中心市の役割	<p>①運行委託に係るバス事業者との総合調整</p> <p>②既存のバス路線との接続調整</p> <p>③地域住民への周知及び利用促進</p> <p>④住民からの意見要望の取りまとめ及び連携町村との運行内容調整</p>					
連携町村の役割	<p>①中心市のバス事業者との調整への協力</p> <p>②既存のバス路線との接続調整</p> <p>③地域住民への周知及び利用促進</p> <p>④住民からの意見要望の取りまとめ及び中心市との運行内容調整</p>					
費用の考え方	運行委託費・車両購入費・整備費等、バス運行に係る費用は、連携市町村の負担金により実施する。					
事業費（千円）	<u>2021</u> (R03)	<u>2022</u> (R04)	<u>2023</u> (R05)	<u>2024</u> (R06)	<u>2025</u> (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標（KPI）	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	

地域公共交通 - ②

事業名	A I 最適運行・自動配車サービス（ドアツードア乗合タクシー） の実証運行					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	利便性の高い持続可能な公共交通システムを構築するため、A I を 活用した最適運行・自動配車サービス（ドアツードア乗合タクシー） の実証運行に取り組む。					
期待される効果	A I による自動配車システムによって運行の効率を高めることによ り、交通事業者におけるドライバー不足に対応しつつ、限られた車両 数でも利便性の高いドアツードアの乗合サービスの提供が可能とな る。 中心市において実証及び運行を実施し、連携町村への横展開を検討 する。					
中心市の役割	①実証および運行の実施 ②事業者との調整 ③地域住民への周知及び利用促進 ④連携町村における事業展開への協力					
連携町村の役割	①中心市における実証運行への協力 ②事業展開に向けた取組					
費用の考え方	中心市における実証運行に係る費用は、中心市が負担する。運行及び 事業展開に係る費用は、各市町村がそれぞれ負担する。					
事業費（千円）	<u>2021</u> (R03)	<u>2022</u> (R04)	<u>2023</u> (R05)	<u>2024</u> (R06)	<u>2025</u> (R07)	計
活用を想定して いる補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標 (KPI)	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	

イ 情報インフラ

基本目標



情報インフラ - ①

事業名	ケーブルテレビによる放送システムの構築・運営					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	子育て支援、空き家に関する情報、地域公共交通など圏域の行政情報や地域情報をケーブルテレビのデータ放送を活用して情報配信を行う。					
期待される効果	圏域の子育て支援、空き家に関する情報、地域公共交通など圏域の行政情報等が共有されることにより、圏域内のネットワークの強化が図られるとともに、一体感が醸成される。					
中心市の役割	① 放送システムの構築・運営 ② 放送システムによる行政情報等の発信					
連携町村の役割	① 放送システムの運営 ② 放送システムによる行政情報等の発信					
費用の考え方	① 実施に係わる費用は、中心市が連携市町村から負担金を徴収し、実施する。 ② 負担金額の算定にあたっては、中心市及び連携町村の共有設備に係る負担金は、伊那ケーブルテレビジョンに加入している全世帯数を各市町村の加入世帯数で除して得た率で按分を行うこととし、それ以外の設備は中心市及び連携町村で等分の負担金とする。					
事業費（千円）	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標 (KPI)	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	

ウ 移住定住・地域振興

基本目標



移住定住・地域振興 - ①

事業名	空き家バンク					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	圏域内への移住・定住により産業の担い手確保及び産業の活性化を推進するため、空き家の利活用を促進する。					
期待される効果	移住希望者は、自らの生活ニーズや就労条件等により、ある程度広範囲なエリアで空き家の物件情報を求めていることから、圏域全体の物件情報をまとめて発信することで、住まいを効果的に探すことができ、圏域内への移住・定住につながる事が期待できる。					
中心市の役割	①民間団体との協定及び行政区域内の物件登録並びに利用者登録に係る業務の実施 ②空き家バンクホームページの構築及び運営 ③空き家バンクホームページによる行政区域内の物件情報の発信 ④区域内の空き家バンク登録促進事業の検討及び実施					
連携町村の役割	①民間団体との協定及び行政区域内の物件登録並びに利用者登録に係る業務の実施 ②空き家バンクホームページによる行政区域内の物件情報の発信 ③区域内の空き家バンク登録促進事業の検討及び実施					
費用の考え方	①行政区域内の物件登録、利用者登録に係る経費は、各市町村が負担する。 ②ホームページの構築及び運営に係わる費用は、中心市が、連携町村から負担金を徴収し、実施する。					
事業費（千円）	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		



(3) 圏域のマネジメント強化に係わる政策分野

ア 人材育成

基本目標

〇〇〇

人材育成 - ①

事業名	合同職員研修					
連携市町村名	伊那市、箕輪町、南箕輪村					
事業概要	職員の資質向上、政策形成能力の強化、相互の交流等を目的として、連携市町村が合同で職員研修を実施する。					
期待される効果	圏域の基礎的知識及び共通課題の学習、課題解決・政策形成能力向上に資する研修等の実施により、圏域の将来像を見据えたマネジメント能力の高い職員を育成することができる。また、合同研修を通じて圏域職員の一体感が醸成され、関係事業の円滑な実施が期待できる。					
中心市の役割	連携市町村の意向を踏まえた合同職員研修の企画立案、使用会場の手配、参加者の募集、研修業務委託等					
連携町村の役割	中心市の合同職員研修の企画立案への協力、団体内における研修の周知、参加者の選定等					
費用の考え方	連携市町村の負担金により実施する。					
事業費（千円）	<u>2021</u> (R03)	<u>2022</u> (R04)	<u>2023</u> (R05)	<u>2024</u> (R06)	<u>2025</u> (R07)	計
活用を想定している補助制度	名称	—			補助率	—
重要業績評価指標（KPI）	指標		現状値（調査時点）		目標値（達成年度）	